

## 校内読書週間が始まります！



**10月27日(火)～11月9日(月)**

今月27日(火)から11月9日(月)までの期間、校内読書週間が始まります。

今週の28日(水)には全校読書会があります。みなさんクラスで本を読んだ感想を交流して楽しんでください。今回の読書週間は図書委員企画としてビブリオバトルと手作りブックカバー講習会を開きたいと思います。ビブリオバトルについては、各クラスに掲示されたルールを一度読んでみてください。手作りブックカバー作りは当日参加も可能です。奮って参加下さい！！

### 文化祭での活動



今回私たち図書委員会は、おすすめの本の展示と文芸集の配布という形で参加しました。立ち寄ってくれた方、文芸集を手にとってくれた方本当にありがとうございました！当初の想定より多くの人たちが立ち寄り手にとって下さったのがとても嬉しかったです。

今後も積極的に活動出来たらと思っていますので、どうぞご期待ください！  
図書委員おすすめの本は図書館の一角に展示しているので、文化祭の時立ち寄れなかった人やその本を借りたい人は気軽に図書館へ！



### 図書委員会の委員長、副委員長が替わりました

委員長 小西崇史さん(2-2)

副委員長 松方伸里さん(2-4)

以上の二人に決定しました。図書委員は通年なのでメンバーは変わりませんが、この二人を筆頭に後期も図書館を盛り上げていきます！！

## 図書委員おすすめ本



### 『ベリーショート』谷村志穂著



(集英社)

片思い、いじめ、友達、悩み。多感な高校生の思いが、短い物語にまとめられています。一つ一つの話が短いため、読みやすいです。短い話ですが、内容は深く、私たちと同じ高校生が主人公で、共感できる部分が多くあり、とてもおもしろい本です。読み始めると止まらなくなるくらいすてきな本です。ぜひ読んでみてください。

(3-2 武石)

### 『すべてがFになる』森博嗣著

この「すべてがFになる」は主人公の犀川創平と西之園萌絵が孤島のハイテク研究所で起こった不思議な事件を解決していくという本です。二人の息のあった推理をぜひ見て下さい。

(3-3 黒田)



(講談社)

### 『この風にトライ』上岡伸雄著



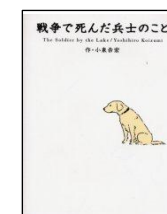
(集英社)

私がおすすめする本は、『この風にトライ』という本です。この本は、小学校に熊沢敦という先生が来て、ラグビーのチームを作って頑張るという物語です。この本の中には、色々な名言などもあり、読んで損はないと思います。ぜひ、読んでみてください。

(3-4 高倉)

### 『戦争で死んだ兵士のこと』小泉吉宏著

この本には、主人公が兵士になり、死ぬまでの人生が描かれています。主人公は大事な人がいて、未来もありました。また兵士になったのも奨学金のためにでした。主人公は私と何ら変わりのない普通の人間でした。この本は兵士も元は普通の人生を送っていた、私たちと同じ人間だということ、たった数分で教えてくれます。(3-6 阿南)



(メディアファクトリー)

## Teacher Recommend Books

先生方のおすすめの本の紹介と  
突撃インタビューのコーナーです。

第3回目は、英語担当の **大林幸誉先生** です。

おすすめの本は 『**Xの悲劇**』エラリー・クイーン著



「ヴァン・ダインの二十則」という言葉を知っていますか?平たく言うと、「ミステリ作家は読者と正々堂々と推理対決をしないといけない」というものです。今回紹介するクイーンは、読者と正々堂々と推理対決してくれるタイプの作家です。作中の手がかりを拾い集め、論理的に繋いでいくと、誰が、どうやって殺人を犯したかが浮かび上がってきます。

最後に、クイーンがどんな作家かを一言で表す『Xの悲劇』の一説を紹介しませう。“読者よ、すべての手がかりは与えられた、犯人は誰か?”名探偵になろうぜ!

Q, この本を手にとったきっかけは?

A, この本の作者の名前が「十角館の殺人」という作品に登場するエラリーと同じだから。

Q, 好きな場面は?

A, 終盤の“読者よ、すべての手がかりは…”のところ。メモをとって読んで、ここで自分なりに推理して楽しむ。

大林先生、お忙しい中ご協力ありがとうございました!

## 映画を読み、図書館へ

『**岸辺の旅**』湯本香樹実著 (文藝春秋)

映画化! 1.0 / 1 (木) 公開

きみが三年の間どうしていたか、話してくれないかー。  
長い間失踪していた夫・優介がある夜ふいに帰ってくる。  
ただしその身は遠い水底で蟹に喰われたという。彼岸と此岸をたゆたいながら、瑞希は優介とともに死後の軌跡をさかのぼる旅に出る。永久に失われたものへの愛のつよさに心震える、魂の再生の物語。



## 新着図書紹介(10月)

『**スクラップ・アンド・ビルド**』羽田圭介著

第153回芥川賞受賞作。「早う死にたか」毎日のようにぼやく祖父の願いをかなえてあげようと、ともに暮らす孫の健斗は、ある計画を思いつく。日々の筋トレ、転職活動。肉体も生活も再構築中の青年の心は、衰えゆく生の隣で次第に変化して…。閉塞感の中に可笑しみ漂う、新しい家族小説の誕生!



(文藝春秋社)

『**赤の他人だったら、どんなによかったか。**』吉野真理子著



(講談社)

ある日、隣町で危険ドラッグを吸った犯人による通り魔事件が発生!教室はその話題でもちきりに。中学2年生の風雅は、容疑者が親戚だと知って、大ショック…。クラスメイトに知られたくないと思う。なのに、犯人の娘・聡子が転校してきて、同じクラスになってしまった!「他人とは何か」「血のつながりとは何か」

- 140 『10代からの心理学図鑑』 マーカス・ウィークス著 渡辺滋人訳 (三省堂)
- 141.5 『最新図解 失敗学』 畑村洋太郎著 (ナツメ社)
- 311 『「なぜ?」がわかる政治・経済』 村尾英俊著 (学研教育出版)
- 319.1 『和解は可能か 日本政府の歴史認識を問う』 内田雅敏著 (岩波書店)
- 329.66 『「ポツダム宣言」を読んだことありますか?』 山田侑平監修 (共同通信社)
- 369.17 『知りたい! ソーシャルワーカーの仕事』 木下大生、藤田孝典著 (岩波書店)
- 391 『世界から戦争がなくなる本当の理由 戦後70年の教訓』 池上彰著 (祥伝社)
- 431.11 『世界で一番美しい分子図鑑』 セオドア・グレイ著 武井摩利訳 (創元社)
- 501.6 『「水素社会」はなぜ問題か 究極のエネルギーの現実』 小澤祥司著 (岩波書店)
- 596 『KIYACHI 四季のレシピ集 春夏秋冬 メインディッシュ』 熊谷喜八著 (NHK出版)
- 913.6 『流』 東山彰良著 (講談社)
- 913.6 『花とアリス殺人事件』 乙一著 岩井俊二原作 (小学館)
- 913.6 『「悩み部」の栄光と、その慢心。』 麻希一樹著 (学研教育出版)